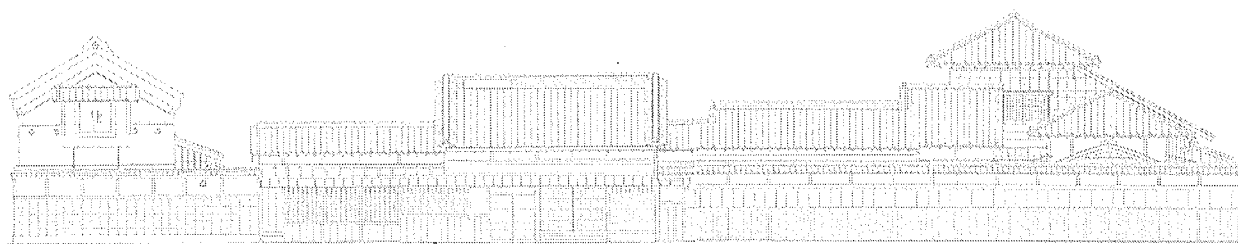


松阪歴史文化舎の取組

～長谷川家・小津家・原田旧宅の活用～

NPO法人松阪歴史文化舎 学芸員 扇野耕多



はじめに

松阪歴史文化舎がめざすもの—温故創新—

私たちは、市行政やまちづくり市民活動団体などと協働して、市内に散在する歴史的文化遺産を守るとともに、これら公共的資産を有効活用し、次代に継承する市民文化の創造を目的としています。

また、独自の調査研究や市民啓発活動を展開し、江戸時代に松阪商人の財により開華した「商人文化」を掘り起こし、松阪らしさあふれる「松阪学」の確立をめざしています。

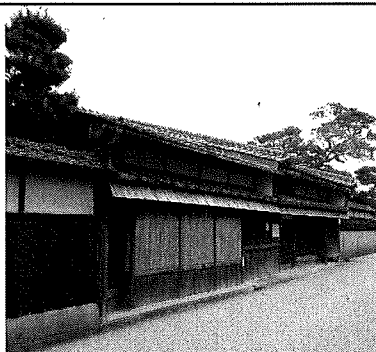


2018年2月にNPO法人松阪歴史文化舎を設立

松阪市が旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅の3文化施設を指定管理制度で運営することとなり、2019年4月より当舎が公開業務を市から受託。※2022年4月より指定管理者

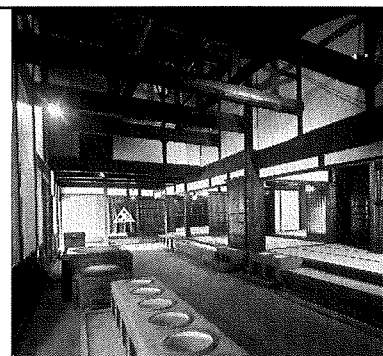
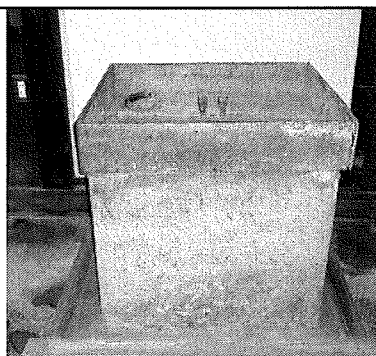
旧長谷川治郎兵衛家

- ・江戸店持ちの商家(木綿問屋)→伊勢商人
- ・三重県指定史跡及び名勝(平成27年)
- ・建造物が国指定重要文化財(平成28年)
- ・古文書や生活道具など約87000点の資料



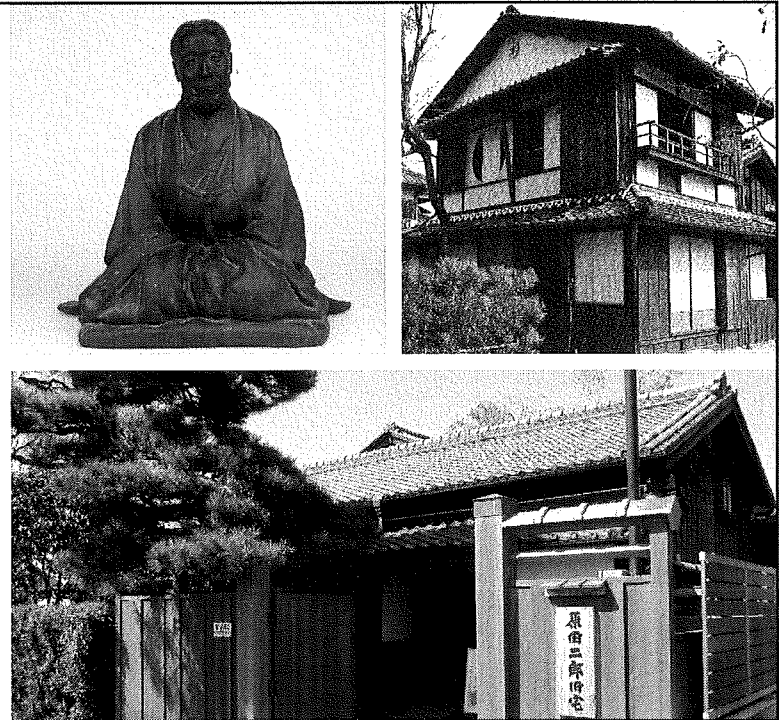
旧小津清左衛門家

- ・江戸店持ちの商家(紙問屋)→伊勢商人
- ・松阪市指定史跡(平成3年)
- ・建造物が三重県指定有形文化財(平成10年)
- ・古文書や生活道具などの約7100点資料



原田二郎旧宅

- ・近代に活躍した実業家
- ・公益財団法人原田積善会の設立(大正9年)
- ・武家屋敷
- ・松阪市指定有形文化財(平成22年)

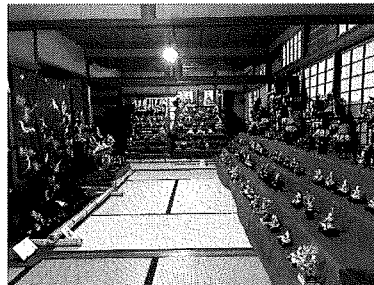


企画展示

企画展示



ひな人形の展示



学芸員によるギャラリートーク



- ・長谷川家→年に4回、小津家→年に4回、原田旧宅→年に3回、ひな人形の展示→年に1回
- ・各企画展示ごとに3回ほど学芸員によるギャラリートークを行う
- ・原田旧宅は所蔵資料が少ない→松阪地域に残る個人所蔵の資料を活用

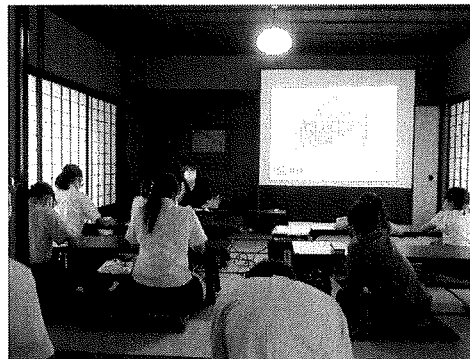
各種講座の開催

くずし字講座



くずし字講座。年に4回。長谷川家及び小津家旧蔵の資料(くずし字で書かれた古文書、蔵書類)の解説。

市内の小中学生を対象とした講座



ちびっ子商人塾。年に4回。松阪市内で活躍する経営者を呼んで小中校生に仕事内容などを紹介する講座。

各種講座の開催

町歩き講座



城下町「松阪」発見講座(2020)、歴史街道発見講座(2021)、豪商の里探検講座(2022)。各講座年に4回。松阪市内外の史跡を巡る講座。

歴史講座



松阪学入門講座。年に8回。松阪の歴史講座。

資料の公開

- ・長谷川家、小津家、原田旧宅資料の閲覧サービス
→松阪市内の在野研究者も利用

資料閲覧状況(件数)

	2019	2020	2021	2022	合計
長谷川	6	8	6	11	31
小津	1	0	3	1	5
原田	0	0	0	0	0



閲覧の様子

- ・オンライン上での長谷川家資料目録の公開を予定
→資料へのアクセスが容易に

地域に残る資料の保存収集

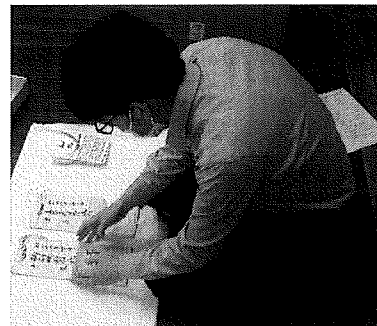
- ・長谷川家、小津家、原田家に係わる資料の保存収集

→寄贈の受入れ

→寄贈者の多くは松阪市内

寄贈受入れ状況(資料点数)

	2020	2021	2022	合計
長谷川	5	7	22	34
小津	0	0	29	29
原田	0	0	0	0



寄贈資料の調査

- ・収蔵スペースの問題で受入れに限界がある

→他館との協力

文化財の魅力を発信

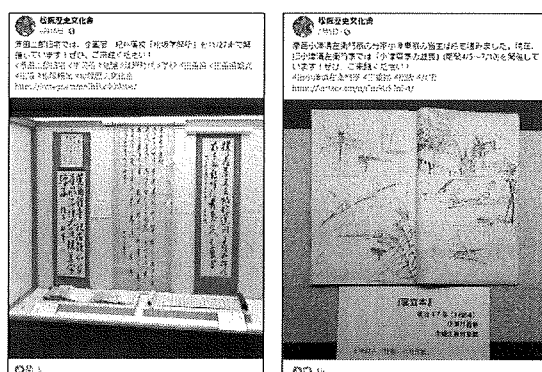


・広報誌『まつさか歴史文化かわら版』の発行(年4回)・・・当舎のホームページでも公開
 →松阪市内の学校、近辺の自治体、近辺の店などに配布

文化財の魅力を発信

Instagram

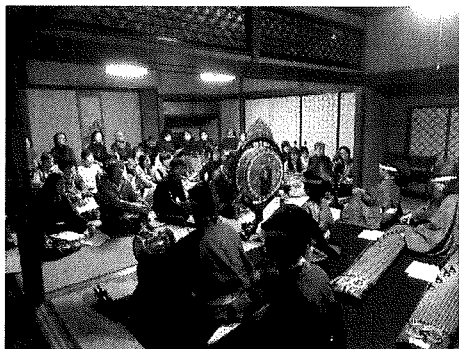
Facebook



・InstagramやFacebookなどのSNSを用いて長谷川家、小津家、原田旧宅の魅力を発信

建物を活用したイベント

秋の夜長の雅楽調べ(長谷川)



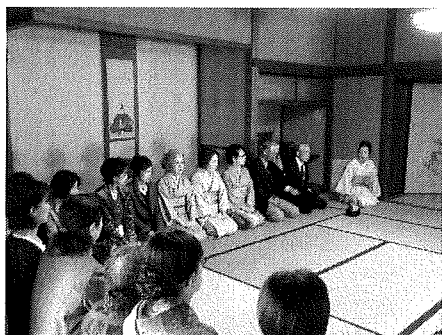
錦秋の名月に聴く和の調べ(長谷川)



→今年も、旧家で楽しむ秋の夜長(長谷川家)、ナイトツアー(長谷川家)、ギターコンサート(小津)などのイベントを行う予定

市民活動団体との協働

氏郷市民茶会



(蒲生氏郷公顕彰会、松阪市茶道協会との共催)

松阪カルチャーストリート



(松本紙店、松阪市、松阪市観光協会との共催)

おわりに

江戸時代の城下町「松坂」は、三都に進出した商人たちの「富」により、異彩を放った「商人文化」が芽生えました。私たちは、旧家伝来の歴史的文化遺産を掘り起こし、次代に継承する市民文化の創造—温故創新—を目指して活動します。

ご視聴ありがとうございました。